

令和5年度（2学年用） 教科

公民

科目 公共

教 科： 公民

科 目： 公共

単位数：

単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：菅原宏明）（2組：菅原宏明）（3組：菅原宏明）（4組：菅原宏明）（5組：菅原宏明）（ 組： ）

使用教科書：（ 公共（実況出版） ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】現代の社会的事象と人間としての在り方に関わる基本的な事柄を理解し、知識を身に付け、それらの事柄について効果的に調べまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】現代の社会的事象と人間と社会の在り方に関わる事柄について、多面的・多角的に考察し、そこで見られる課題について解決方法を判断したり、その過程や結果を適切に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】現代の社会に関わる事柄について主体的に調べ分かつとする態度を持ち、課題解決に向けて意欲的に臨むことができる。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自覚を養い、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて意欲的に深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 社会を作る私たち 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 青年期の特徴と課題 職業生活 日本の伝統文化 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書 スライド 自作プリント	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	7
	B 単元 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。	・指導事項 意志の自由 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書 スライド 自作プリント 映像資料	【知識・技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元 他者とともに生きる、民主社会の倫理 【知識及び技能】 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 功利主義 平等と公平 人間の尊厳と平等 自由と責任 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書	【知識・技能】 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、よりよい社会の実現に向けて努力することについて理解している。	○	○	○	6
	D 単元 民主社会における基本原理 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する。	・指導事項 民主政治 世界の政治制度 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書 スライド 自作プリント 映像資料	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な課題に対して、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを議論する力を身に付けている。	・指導事項 日本国憲法 平等権、自由権、社会権、参政権・請求権 新しい人権 公共の福祉 平和主義と防衛問題 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを議論する力を身に付けている。	○	○	○	14
	F 単元 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な課題に対して、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを議論する力を身に付けている。	・指導事項 司法、行政、立法 政党政治 選挙制度 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書 スライド 映像資料	【知識・技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを議論する力を身に付けている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	G 単元 現代の経済社会 【知識及び技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。	・指導事項 市場の仕組み、市場の失敗 国民所得 金融、日本銀行、財政 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書	【知識・技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。	○	○	○	17

3 学 期	政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に成り立たせることが必要であること	スライド	【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定				
	H 単元 日本経済の特質と国民生活 【知識及び技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に成り立たせることが必要であること	・指導事項 日本経済の成長と課題 農業と食糧問題 消費者問題 公害 労働者問題 社会保障の役割と課題 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	I 単元 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 J 単元 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差は解決を求めている状況やこれらの解決が地球	・指導事項 国際社会と法 国際連合 人権・民族問題 国際平和 用語の整理、理解 身近な例を挙げさせる ・教材 教科書	【知識・技能】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	9
			【知識・技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定	○	○		1
				○	○		合計
							105